

山口大学通りの景観調査について

福 田 隆 真

A Survey on the Appearance of University Road, Yamaguchi

Takamasa FUKUDA

(Received September 5, 1994)

はじめに

昭和61年度(1986年度)より開始された山口大学前通りの改装工事は、現在その工程を終了し、私たちに新しい生活空間を与えてくれている。もともと環境とそこに住む人々は密接な関係を持ち、相互に強い影響を及ぼすものであるが、これまで私たちは自分たちを取り巻く環境やその変化に対して受け身であり、主体的に意識することが少なかったように思われる。この度の改装工事は、そうした環境に対する意識について考える上で、ひとつの良い機会であるといえる。

そこで、“良い環境”がもつべき使いやすさ、住みやすさといった面から、この度の環境の変化を見つめ直し、更にそれらの変化がもつ意義について、アンケート調査等を通して考察を試みた。

本稿は平成5年度の教育学部美術教育講座で、私が担当するデザインの授業において受講生と共同で行った景観調査の報告をまとめたものである。

1 調査の動機

この度の改装工事によって、山口大学前通り(通称 山大通り)は改装前に比べて数段美しく、そして住みやすくなった。そのことはこの山大通りを中心に生活している私たちが一番よく感じている。しかし、そうした恩恵を被っているながら、私たちはそれを当然のこのように感じ、何も意識することなく順応してしまっていることが多い。

この景観調査は、自分たちと密接な関係をもつ環境やその変化を常に主体的に捉える眼を、私たち自身がもち続けていきたいというところから出発した。そうすることが住民と環境の関係を保ち相互に刺激しながら、よりよい社会を創り出す起点となると考えたからである。その上で、自分たちにとって住みやすい環境とはどういうものなのか、環境のもつ意義について考えていかなければならない。

2 調査の方法

景観の調査に当たっては、一般的に景観そのものの写真を撮り、視覚的に連続するように繋ぎ合わせた。そしてそれらを基に余計な借景を取り除いてパノラマ型のイラストレーションを作成した。さらに改善された点や今後の問題となる点を、実際に調査するとともに写真に記録

した。

(1) 写真撮影（平成5年6月～7月）

大学前交差点から県道61号線交差点まで山大通りの両側を約10m間隔で撮影し、その写真を繋ぎ合わせて山大通りを一望できるようにした。（図1～4）また、山大通りの中で便利などころ、問題点の残ると思われるところ、目についたところなどをピックアップした。

(2) 景観図の作成

山大通りの写真をもとにパノラマ型のイラストレーションを作成した。（図5～8）その際、通りそのものの景観を検討するため、余分な背景は省き、通りと周囲の建造物の色彩的なバランスなどについて話し合うための資料とした。

(3) アンケート調査

山大学生を主とした山大通り利用者150人を対象とし、改装後の山大通りに対する感想、意見等をアンケート形式で調べ、環境に対する意識調査の資料とした。

3 調査の内容

山大通りを実際に歩いてみることにより、気がついたことを写真とメモにより持ち帰り、改善された点やこれから起こるであろう問題点などについて討議した。さらに学生が山大通りをどのように受けとめているのかを正確に把握するために、以下のような内容のアンケート調査を実施した。（表1）それらをもとに山大通りなどの環境の現状とあり方を見つめ直そうと試みた。

アンケートの内容としては以下のような主旨で行った。

- ・ 歩道、自転車道の利用状況と感想。
- ・ 山大通りの全体的な景観についての感想。
- ・ 大学前のポケットパークの利用状況と感想。

4 アンケートに寄せられた意見について

アンケートに寄せられた意見の多くは以下のように集約された。

(1) 歩道、自転車道について

- ・ 水溜まりがでにくく、雨の日に汚れなくて便利である。
- ・ 道が美しいので歩くのが楽しい。
- ・ 歩道、自転車道と車道が交差する箇所の段差が通行の妨げになる。
- ・ 車止めのポールが自転車で通行する際に危険である。
- ・ 歩道と自転車道とを分ける柵はないほうがよいと思う。
- ・ 照明の消灯が早いので、夜間の通行に困る。

(2) ポケットパークについて

- ・ 水飲み場、または噴水などがほしい。
- ・ ゴミ箱、灰皿などがある方がよい。
- ・ 岩が閉鎖的で圧迫感がある。（←閉ざされているので落ちつける。）

(3) 山大通り全体について

- ・ 雰囲気の良い店舗が増えるとよい。
- ・ 電話ボックスを増やしてほしい。
- ・ 駐車場、駐輪場を増やしてほしい。

- ・看板を周囲にあわせて立ててほしい。
- ・バス停に屋根がないので、雨の日に不便である。

5 調査の結果と問題点

アンケートの結果（表2）からも分かるように、山大通りの全体的な印象はほとんどの人が良いと感じている。利用のしやすさについても地域住民の満足度は高い。ただ、こうした環境の変化に消極的であることも伺えるので、環境に対する意識を高めていく努力が必要であると感じられた。景観の特徴と今後の問題点としては以下の2点が挙げられる。

(1) 景観の特徴

- ・並木を植えたことにより景観に落ちつきができた。
- ・電柱を除去することにより、視覚的にも物理的にも空間にゆとりができた。
- ・車道が広がり、カーブしやすくなった。
- ・路側帯が広くなって、車の停車等がしやすくなった。
- ・交差点に新たに信号ができて歩行者の利用がしやすくなった。
- ・ポケットパークの利用者が増えてきて、住環境にゆとりができた。

(2) 今後の改善点、問題点

- ・自転車・歩行者のレンガの継ぎ目が不適切で、ハイヒールなどでは歩行しにくい。
- ・バス停と車道との段差が大きいので利用しにくい。また、バス停には屋根があった方が望ましい。
- ・多くの学生は自転車を利用するので、店舗等に駐輪場の配慮がほしい。
- ・車止めポールが不適切で、夜間の通行の妨げになることがある。
- ・夜間の街灯の点灯時間を長くしてほしい。
- ・自転車道が車道と交差する所の段差が大きく、自転車、車椅子等の通行の妨げになる。
- ・道路標識が並木の陰になっているので工夫がほしい。

6 ま と め

アンケート調査と実際に写真を撮りながら、山大通りを問題意識を持って景観調査を行ってみた。調査結果を検討し、余分な周囲の背景を排除することにより、山大通りそのものの景観を浮き彫りにすることができた。アンケートによると、83.6%の利用者が全体的な外観は美しいと回答しているように、山大通りは美しく、かつ便利に改装されたことに間違いはない。反面、68.2%の人が山大通りと道路沿いの建造物との色彩的なバランスにおいて違和感を感じると回答しているなど、いくつかの問題も残している。具体的には以下のようにまとめられる。

(1) 並木について

通り全体に植えられた植物に関しては、一部で標識の邪魔になるとの声もあったが、全体的には季節感があり、彩りもよく美しくなったという意見が多かった。

(2) 歩道、自転車道について

色調を考慮された石畳風の歩道と自転車道は通りの中心的な存在であるが、落ちついた色合いで統一され、通り全体の雰囲気明るく、かつ美しくしている。

(3) 道路標識、信号機などについて

通りの色調に合わせて造られており、景観の美しさにも心配りがなされていることが伺える。利用者もそのほとんどが好感が持てるかと答えている。

(4) 道路沿いの建造物について

通りに面した店舗や看板が通りと不釣り合いである、また、それらの店舗にとめてある自転車が景観を乱している、といった意見がアンケートの結果にいくつか見受けられた。しかし、通りのイメージに合わせた看板を立てる店舗も出てくるなど、景観を意識する動きも見え始めている。

この度、私たちが行った景観調査で、山大通りは外観的にも利用する機能の面からも学生の絶対的な評価を得ていることが明らかになった。また、調査を始めた当初疑問に思われた点なども、その後の工事によって大幅に改善され、着工から完成にわたっての山口県及び山口市当局の山大通りに対する真剣さと期待とが強く感じられた。しかし、山大通りを中心とした生活を続けるにつれ、さらに細々とした問題が起こる可能性がある。そうした問題に対処していくためにはこれからの地域と行政との密接な結びつきが大切であるが、着工の段階で住民の要望を集めるなどの事前の情報のやりとりがよりよい環境をつくる上でさらに重要であると考えられた。

7 身近な環境への提言

この度改装された山大通りの利用者はそのほとんどが学生であり、周囲に学生アパートも多く、文字どおり大学生の通りである。環境と住民は密接な関係をもっているということから考えれば、この“大学生の通り”は“大学生らしく”あるべきであるが、それを考える前に、大学生の日常的生活を考え、見つめ直す必要がある。

環境を通して見直してみた現在の大学生の印象は、率直に言ってあまり良いとはいえない。それは大学構内にとどまらず、他の生活環境においても、一部マナーの悪さなどが目だつからである。これは大学生の質の低下というよりも、自分を取り巻く環境に対する意識が、低下していることの現れであると考えられる。つまり多くの学生が個々の狭い“なわばり意識”を持ち、自分に関係のない周囲の環境には関心を持たなくなっているのではないだろうか。これは最近の学生のみならず、一般的にもいえる傾向である。そしてこうした環境に対する意識の低下が地域の人々とのつながりを疎遠にするだけでなく、自分たちの環境を住みにくいものへと変えてきたのではないだろうか。

このような現状を解決するための一つの方法として、これから創られる環境は環境を意識することについて、人々を啓発するものであるべきではないだろうか。つまり、山大通りは美しくあるだけでなく、山大学生の環境に対する意識を改革し得るシンボリックな存在であるべきである。大学生の環境に対する意識が変われば、よりよい大学通りができ、平川地区の活性化にもつながると考えられる。

また、以前から、開かれた大学ということが社会的に話題になっている。近年、物理的にも内容的にも大学公開に努めてきてはいるが、一般の人から見れば、まだ大学は閉ざされた存在である。大学通りがそうした一般の人々と大学生とのコミュニケーションの場になれば、大学と地域のつながりも深まり、教育界で唱えられる生涯教育の場に発展する可能性も考えられるであろう。

私たちはこの調査を通して、環境のあり方などを見つめ直す機会をもつことができ、環境について考えることで、大学生のあるべき姿と実情を浮き彫りにすることもできた。環境について考え、主体的に働きかけることにより、一層よい環境を創りあげ、人々がその環境に見合うように順応する。それが環境と人間の理想的な関係だと私たちは考える。その出発点として、まず、自分たちの環境を常に意識し続けようという姿勢が肝要であるということはこの調査を

通して学ぶことができた。今回の試みが、こうした環境に対する意識を広げていく契機となることを願っている。

付 記

平成5年度の4年生のデザインの授業の一環として、山口大学通りの景観調査を試行した。美術教育が単に個人や学校の内部だけで完結するのではなく、それぞれの人間が生活している社会との関連性を考えるために、この授業のテーマを設定したつもりである。

山大通りの改装工事は長きに亘った。殺風景であった通りが少しずつ生氣をもちはじめ、歩道も車道も明るくなりはじめた。正門前には少し目をひく小さな公園もできた。通りは次第に街らしくなり、学生の住む街のように活気づいてきたように思われる。並木も植樹され、緑が背景の山や空と似合ってきた。景観が美化されることで、ほんの少しだけれど心が豊かになってきたことを私自身も感じている。ただ、現実的にはいくつかの気がかりな点もある。実際に歩道を歩いてみて不便さを感じることもある。視覚的に過剰な刺激となるような看板が気になることもある。熟慮されたプランも現実になると、問題を生じることとは否めないし、素直に受けとめながら未来を考えることがデザインには必要である。環境は常に生きているし、私たちが環境の一部である。そうした認識に立って、よりよい方向に努力することが、デザインの使命であろう。

なお、この調査に当たった平成5年度の山口大学教育学部美術教育講座4年生は以下である。
原田敦史 金子和代 有馬陽子 三隅信洋 福永史子 山田晃子 山下規子 高橋睦子

●大学前交差点から県道61号交差点までの景観（図1～4）

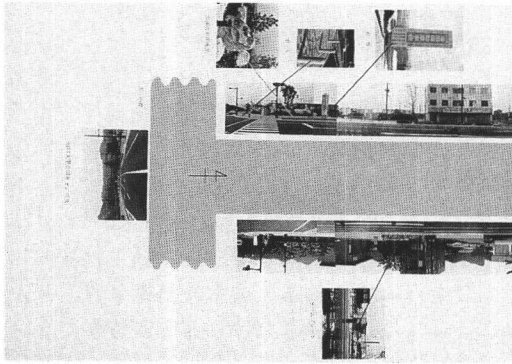


図 1

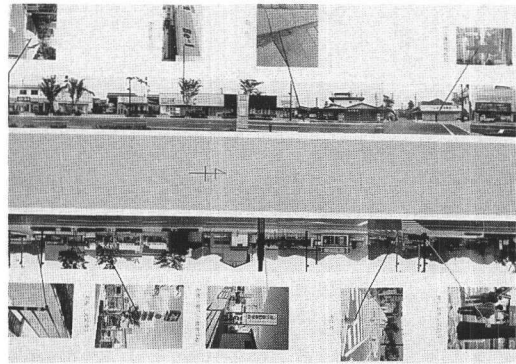


図 2

●山大通りのイラストレーション（図5～8）

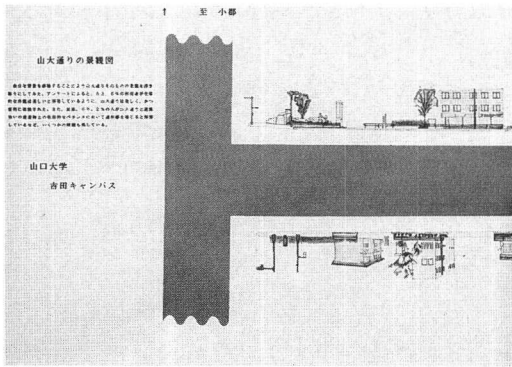


図 5

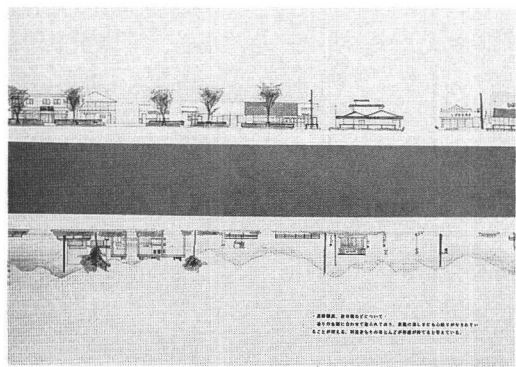


図 6

山口大学通りの景観調査について

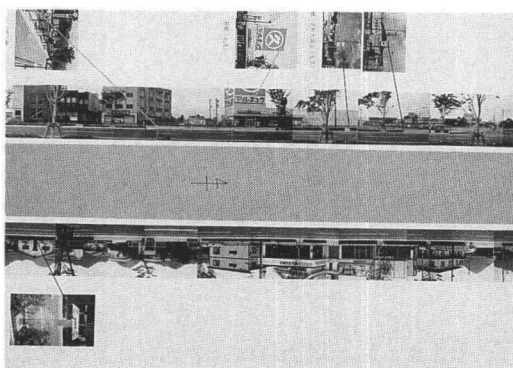


図 3

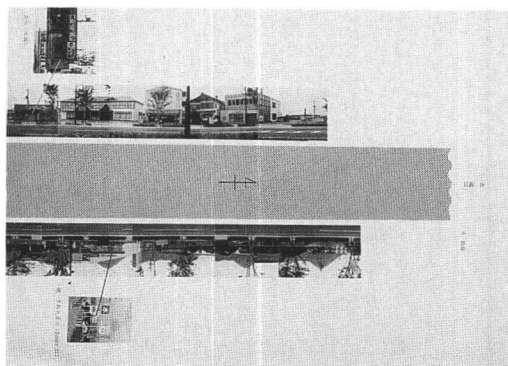


図 4

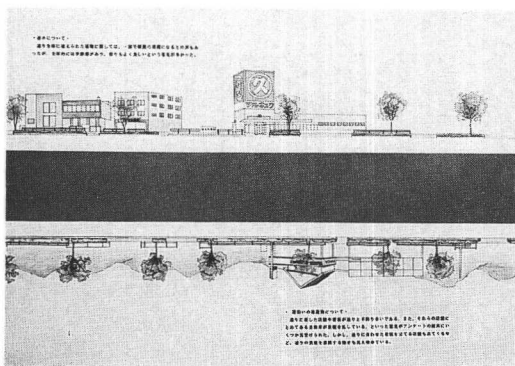


図 7

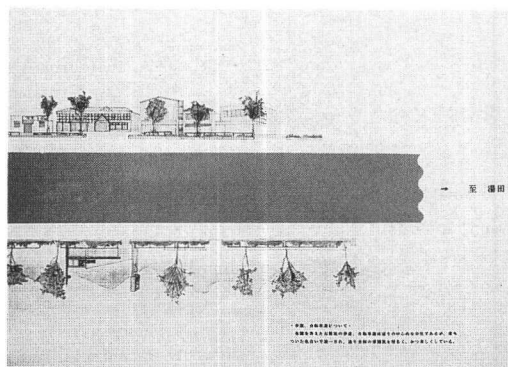


図 8

●アンケート調査内容 (表1)

大学通り、ポケットパークについてのアンケート

この度、大学通りが学生にとって魅力ある街づくりとして整備され、大学前交差点にポケットパークが建設されました。それについて以下の問いについてお答えください。

1. 歩道、自転車道についてお伺いします。(以下、該当するものに○をつけてください)

(1) 全体的にみて通行しやすいですか。 よい わるい どちらでもない

(2) 大学通りの歩道は a. 歩道、b. 自転車道 (右図参照) に分かれています。

①分かれていることお御存じですか。 はい いいえ

②普段どちらを多くお使いですか。(図の a, b でお答え下さい)

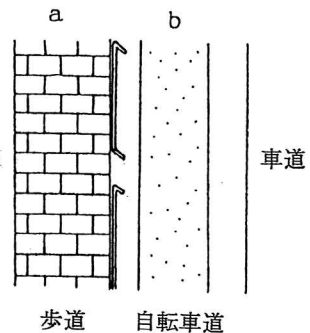
(i) 徒歩の時 a b 意識していない

(ii) 自転車の時 a b 意識していない

③分かれていることは便利だと思われませんか。

(i) 徒歩の時 便利 不便 どちらでもない

(ii) 自転車の時 便利 不便 どちらでもない



☆次の点で便利だと思われるものには○、不便だと思われるものには×をつけてください。

(複数解答可)

(1) 歩道・自転車道を分ける柵ができたこと ()

(2) 押しボタン式の信号機 ()

(3) バス停のベンチを兼ねた柵 ()

(4) 車止め(石のボール)ができたこと ()

(3) その他、歩道、自転車道についてお気付きの点があれば、自由にお書きください。

(4) 車、原付をお持ちの方にお伺いします。

①整備された道路は通行しやすいですか。

よい わるい どちらでもない

②次の点で便利（通行しやすい）だと思われるものには○、不便（通行しにくい）だと思われるものには×をつけてください。（複数解答可）

- (1) 車の流れ ()
- (2) 大学通りからの右左折、大学通りへの進入 ()
- (3) 押しボタン式信号機 ()
- (4) 車内からの視界（道路標識など） ()
- (5) 歩道、路側帯が広がったこと ()

2. 大学通りの全体的な景観についてお伺いします。

(1) 全体的な外観の印象はどうか。 よい わるい どちらでもない

(2) 次の点で色彩的にはどう思われますか。良いと思われるもの、悪いと思われるものをそれぞれお書きください。

- (1) 歩道、自転車道の舗装 よい わるい
- (2) 道路標識、信号機など よい わるい
- (3) 並木などの植物 よい わるい
- (4) 道路沿いにある店舗等の看板など よい わるい

(3) 外観的に大学通りにふさわしいと思われるもの、そうでないものがあれば、その理由もそえてご自由にお書きください。

3. 大学前交差点沿いに出来た公園についてお伺いします。

(1) 中に入られたことはありますか。 はい いいえ

(2) (1)で「いいえ」と答えられた方にお伺いします。入られなかった理由として一番近いものを次の中から選んでください。

- (1) 入りづらい、入っていいのか分からなくて
- (2) 人目が気になる
- (3) 公園だということを知らなかった
- (4) 駐輪場、駐車場がない
- (5) 興味が無い、忙しくて、その他 ()

(3) 中に入られたことのある方にお伺いします。

①入ってみて印象はどうでしたか よい わるい どちらでもない

②公園に設置されている岩についてどう思われましたか。下から該当するものをお選び
ください。

- (1) 閉鎖的である
- (2) 閉ざされていて落ち着ける
- (3) 岩が落ちてきそうで不安である
- (4) 自然で美しいと思う
- (5) 入口を通して外から見えるので落ち着けない。
- (6) その他 ()

③また来たいと思われますか。出来ればその理由もお書きください。

- 1. 来たい
- 2. 来たくない

<理由>

☆公園について、ここをこうして欲しいというご希望があればご自由にお書きください。

(ex, 水飲場がほしい など)

4. 大学通り(公園も含む)全体についてお答えください。

(1) 全体的に考えて、大学通りの印象はどうですか。

よい わるい どちらでもない

(2) 大学通り全体に関するご希望がありましたらご自由にお書きください。

(ex, 電話BOXを増やして欲しい… など)

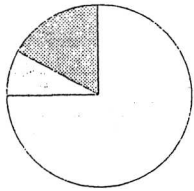
山口大学通りの景観調査について

アンケート結果 (表2)

1. 歩道、自転車道についてお伺いします。

(1) 全体的にみて通行しやすいですか。

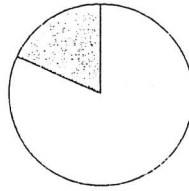
	はい	いいえ	どちらでもない	計
1 (1)	119	13	27	159



□ 74.8% : はい
□ 8.2% : いいえ
□ 17.0% : どちらでもない

(2) 大学通りの歩道は、歩道と自転車道に分かれているのですが、
①分かれていることをご存じですか。

	はい	いいえ	どちらでもない	計
1 (2) ①	130	29	—	159



□ 81.8% : はい
□ 18.2% : いいえ

1. 歩道、自転車道についてお伺いします。

(2) 大学通りの歩道は、a. 歩道と b. 自転車道に分かれている
のですが、

②特徴どちらを多くお使いですか。
1) 徒歩の時

a	b	意識していない
55人	5人	83人

ii) 自転車の時

a	b	意識していない
6人	107人	46人

③分かれていることは便利だと思えますか。
1) 徒歩の時

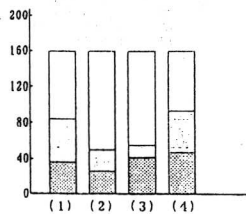
便利	不便	どちらでもない
78人	5人	76人

ii) 自転車の時

便利	不便	どちらでもない
93人	10人	56人

☆次の点で便利だと思われるものには○、不便だと思われるものには×をつけてください。

- (1) 歩道、自転車道を分ける欄ができたこと。 ○75人 ×48人
- (2) 押しボタン式の信号機。 ○109人 ×24人
- (3) バス停のベンチを兼ねた欄。 ○104人 ×14人
- (4) 車止め(右のポール)ができたこと。 ○66人 ×46人



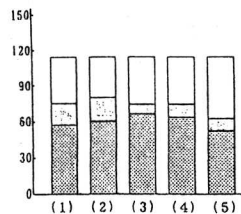
□ : 便利
□ : 不便
□ : 無回答

1. 歩道、自転車道についてお伺いします。

(4) 車、原付をお持ちの方にお伺いします。

②次の点で便利だ(通行しやすい)と思われるものには○、不便だ
(通行しにくい)と思われるものには×をつけてください。

- (1) 車の流れ ○39人 ×18人
- (2) 大学通りからの右左折、大学通りへの進入 ○34人 ×20人
- (3) 押しボタン式信号機 ○40人 ×8人
- (4) 車内からの視界(道路標識など) ○40人 ×11人
- (5) 歩道、路肩帯が広がったこと ○52人 ×10人



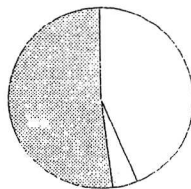
□ : 無回答
□ : 不便
□ : 便利

1. 歩道、自転車道についてお伺いします。

(4) 車、原付をお持ちの方にお伺いします。

①整備された道路は通行しやすいですか。

	よい	わるい	どちらでもない	計
1 (4) ①	50	5	59	114

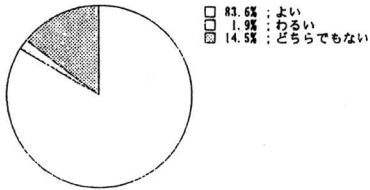


□ 43.9% : よい
□ 4.4% : わるい
□ 51.8% : どちらでもない

2. 大学通りの全体的な景観についてお伺いします。

(1) 全体的な外観の印象はどうですか。

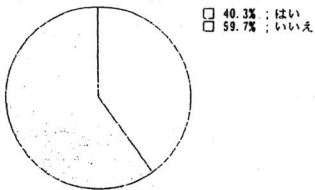
	よい	わるい	どちらでもない	計
2 (1)	133	3	23	159



3. 大学前交差点沿いにできた公園についてお伺いします。

(1) 中に入られたことはありますか。

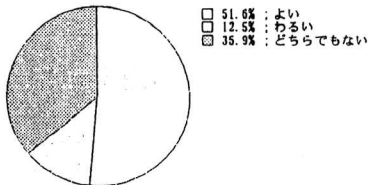
	はい	いいえ	どちらでもない	計
3 (1)	64	95	—	159



(3) 中に入られたことのある方にお伺いします。

① 入ってみて印象はどうでしたか。

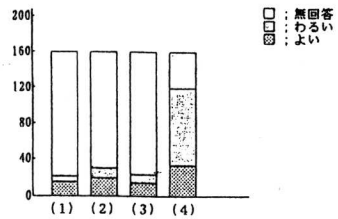
	よい	わるい	どちらでもない	計
3 (3) ①	33	8	23	64



2. 大学通りの全体的な景観についてお伺いします。

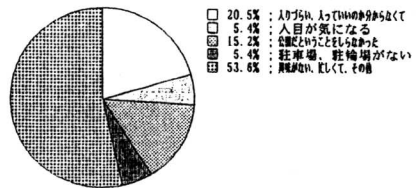
(2) 次の点で色彩的にはどう思われますか。

- (1) 歩道、自転車道の舗装 138人 × 6人
 (2) 道路標識、番号標など 129人 × 11人
 (3) 並木などの植物 136人 × 9人
 (4) 道沿いにある店舗等の看板など 40人 × 86人

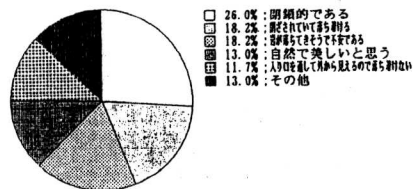


3. 大学前交差点沿いにできた公園についてお伺いします。

(2) 公園に入られなかった理由として近いものを選んでください。



公園に設置されている岩についてどう思われましたか。次の中から選んでください。



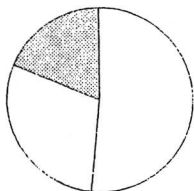
山口大学通りの景観調査について

3. 大学前交差点沿いにできた公園についてお伺いします。

(3) 中に入られたことのある方にお伺いします。

㊦ また来たいと思われませんか。

	はい	いいえ	無回答	計
3 (3) ㊦	3.3	1.9	1.2	6.4

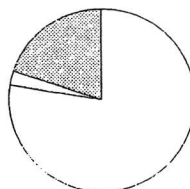


□ 51.6% : はい
 ▨ 29.7% : いいえ
 ▩ 18.8% : 無回答

4. 大学通り（公園も含む）全体についてお答えください。

(1) 全体的に考えて、大学通りの印象はどうですか。

	よい	わるい	どちらでもない	計
4. (1)	12.4	4	3.2	15.9



□ 77.5% : よい
 ▨ 2.5% : わるい
 ▩ 20.0% : どちらでもない